

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
	1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	
	(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
	法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	障害者総合支援法に基づいた事業運営を適切に行いました。内部監査を定例に行うことで、サービス管理責任者の業務及び必要書類を随時チェックする体制が確立され、法令遵守にも努めました。サービス管理責任者と現場リーダーが協力して、利用者主体の個別支援計画書に基づいた支援を行うことができました。	A	内部監査などのチェック体制が確立されたことで、これまで以上に適切な事業運営が行われている。また、利用者の意向を丁寧に聴きとることで、質の向上が図られている。	意見無し	
	利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	「重要事項説明書」と「利用契約書」「個人情報使用同意書」においては、随時更新したものをお渡しし、説明したうえでそれぞれ署名捺印をいただいています。また、法改正に伴う変更や加算変更についても、その都度説明を行い、書面にて同意をいただいています。	A	各書面も適宜更新され、利用者やその家族等へ都度説明するなど、適切に行われている。	意見無し	
	施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。		A	積極的に支援学校や相談支援事業所へ空き状況及び見学・実習の受け入れについて伝えた結果、2名の新規利用者と契約できました。	A	積極的に関連機関と連携を行い、見学・実習を受け入れ、契約につなげている。	意見無し	
	< 課 題 >		多くの見学者や実習の受け入れを行い、新規利用者確保につなげる必要があります。		引き続き相談支援事業所や支援学校と連携を進め、新規利用者の確保につなげる必要がある。		意見無し	
	< 改善内容 >		パンフレットを適宜見直し、施設内で行う作業やプログラムなどを支援学校や相談支援事業所にアピールします。		これまでの課題解決策に加えて、なお効果的な取り組みを行い、新規利用者が増えることを期待する。		意見無し	
	(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
	施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	部屋ごとのサービスを徹底することで、コロナによる影響をできるだけ広げないように努めました。年末に生活介護サービスでクラスターになり2日サービスを中止しましたが、他の部屋の利用者には影響が出ませんでした。濃厚接触者に対しては在宅支援を行い健康観察に努めました。	A	感染対策を講じながら、創意工夫を凝らし、有効に活用されている。	コロナ禍で感染対策を徹底され、影響を最小限におさめたこと、また濃厚接触者に対しても在宅支援等色々な工夫を行ったことは高く評価出来る。	
	施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	利用者からのニーズもあり、3年ぶりに所外行事を実施しました。感染予防の観点から、屋内の食事場所が貸し切れて、屋外で楽しめる万博公園に行きました。ご家族が亡くなられて日中支援型のグループホームへ移行された方が、当所退所後心身不調になられたため、関係機関と連携し、当所への通所再開につなげました。週3日の通所により食欲も脚力も復活されました。	A	感染対策を講じながら、利用者の参加・利用しやすい提案や丁寧な聴き取りを行うなど、利用促進が図られた。	意見無し	
	< 課 題 >		関係機関や近隣に対しても小戸ならではの魅力をアピールし、新規利用者を確保することが必要です。		小戸作業所が利用者から選ばれるよう、作業所の魅力を効果的に発信する必要がある。		意見無し	
	< 改善内容 >		ホームページやパンフレットを見直し、支援内容や行事をわかりやすく掲載します。地域活動なども行い、近隣にも施設の良さをアピールします。		改善につながる効果的な広報活動に期待したい。		意見無し	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
(1-3) 利用者の満足度	A			A			(1-3) 利用者の満足度		
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	利用者及び保護者対象のサービス毎の年度末アンケートの他、嗜好調査や摂取調査アンケートも実施し、給食のリクエストメニューのアンケートも月1回実施しました。		A	適切に行われている。		意見無し		
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケート結果を受けて、所外行事を実施しました。職員間で議論を重ね、行き先は万博公園と近場にはなりましたが、「楽しかった」と好評を得られました。生活介護は、職業体験の一環として模擬店を企画したり、作業訓練の種類を増やすなど、プログラムの充実を図りました。就労継続支援B型は希望の多かった工賃増が達成できました。		A	アンケート結果を踏まえ、利用者ニーズに適切に対応された。		意見無し		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情という形ではあがりませんでしたが、ご意見や困りごとの相談があった場合はその都度お話を伺いご理解を得られるように、口頭や文書による説明を行い、丁寧に対応をさせていただきます。		A	適切に行われている。		意見無し		
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	送迎時や面談時に本人及び家族の意向を伺い支援に活かしました。家族状況なども把握するように努め、相談支援事業所とも想定できる問題について共有し、対応を検討しました。		A	適切に行われている		意見無し		
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	感染対策のルーティン化とともに、免疫力向上の取り組みを行いました。日々の体操や散歩に力を入れ、栄養満点の給食提供だけでなく、給食だけでなくでも免疫力UPの食材などを紹介したことにより、感染症にかかる利用者が減りました。		A	適切に行われている		意見無し		
< 課 題 >		ご家族が高齢になって来られています。近い将来、送迎希望者が増えること、今の生活が困難になることも想定できません。早期に対応を考える必要があります。			将来に向け、より多くの利用者から意向を汲みとるための工夫が必要。		意見無し		
< 改善内容 >		送迎については、送迎時間など工夫してできるだけ希望に沿うように検討します。ご家族の状況については、サビ管だけでなく職員が協力して情報収集し、事前検討する体制をつくります。			利用者の意向を的確に把握し、改善などを行うことで、利用者及びその家族の満足度向上、不安解消につながることを期待する。		送迎に関して、可能な限り利用者の希望に沿うこと。		
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】		
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	光熱費が高騰したため、前年度より増額はしたものの、サービス提供時間外の節水節電に職員全員が取り組み、使用量は前年度より下げることができました。		A	光熱費高騰のなか、経費節減を図る工夫がなされている。		物価高騰給付金などを活用し、経費の節減に工夫すること。		
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業者委託での契約に際し、見積り業者を探すのに苦慮しながら、相見積りを取りより安価な業者と契約しました。		A	引き続き経費が最小となるよう努めること。		意見無し		
< 課 題 >		建物全体が老朽化しており、屋根や外壁については、早急に修繕が必要です。蛍光灯も減少していくなか、施設のLED化も必要です。特に業務委託において、見積りを依頼できる業者が少なく、業者側も見積りに消極的なため、見積り依頼に苦慮しています。			計画的な改修に向け、利用者の安全の目線から優先順位を付けること。		意見無し		
< 改善内容 >		老朽化については、職員が修繕できる場所は修繕します。困難な箇所については、優先順位なども含め、市と協議します。			引き続き経費削減に努め、真に必要なものは市と協議されたい。		意見無し		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
(2-2) 収入の増加	A			A			(2-2) 収入の増加		
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。	A	感染対策の一環として、完全に分離した部屋ごとのサービスを行いました。コロナ禍で中止したサービスもありましたが、収入減を抑えるために濃厚接触者に対し在宅支援を行いました。区分の高い方の支援を充実させるために、強度行動障害支援者養成研修の資格を職員2名が取得しました。		A	適切な感染対策により、利用者が安心して利用できる環境を整えるとともに、在宅支援も実施し、具体的な取り組みを行っている。		意見無し		
収入の増加など取り組みの効果は得られたか。	A	在宅支援により、収入減を抑えることができました。関係機関と連携し、2人の区分5以上の方と契約し、収入を上げることができました。		A	関係機関と連携し、新たな利用者確保に努めている。また、在宅支援に取り組むなど、きめ細かい支援がなされている。		意見無し		
< 課 題 >		重度支援加算がとれる体制づくりが必要です。			新規利用者を確保するためには、相談支援事業所や支援学校などとの連携を進めるとともに、新たな体制づくりが求められる。		意見無し		
< 改善内容 >		重度支援対象者の人数に合わせて資格取得者を増やし、制度に沿って人員配置を変更します。重度支援体制をつくり、利用者確保に努めます。			新規利用者が増加するよう、具体的な体制作りや取り組み、成果を期待する。		意見無し		
(2-3) 収支のバランスなど	A			A			(2-3) 収支のバランスなど		
収支のバランスは、適切であったか。	A	コロナ禍の中で在宅支援を実施して、出席率低下を抑えました。収支のバランスは適切に行えました。		A	コロナ禍により難しい事業運営が求められる中、在宅支援を実施するなど、収支バランスを図ろうと努力された。		意見無し		
費用対効果を考えながら、経費の効率的で効率的な執行が行われたか。	A	事業費、事務費において業務委託・物品購入や修繕などを行う場合に相見積等を行い安価な業者に業務委託、修繕依頼や購入を行いました。		A	適切に行われている。		意見無し		
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の内容に誤りは無く、適切に執行できました。		A	適切に行われている。		意見無し		
< 課 題 >		水道光熱費・車両燃料費が高騰しています。			一事業所ではどうしようもない部分もあるが、できるだけ経費節減を図る工夫が必要。		意見無し		
< 改善内容 >		引き続き、節水節電に取り組めます。			引き続き、経費削減のため、現在の取り組みを続けられたい。		意見無し		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	4月早々に2人目サービス管理責任者が欠員になりましたが、人員配置的には問題なく運営できました。個別支援計画作成及びサービス管理責任者の業務については、職員全員が協力し法令どおり遂行できました。派遣職員も手配し、支援の質も維持しました。	A	突然の欠員にも対応でき、適切な人員配置が行われている。	意見無し	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	令和5年度からの重度支援強化のため、強度行動障害支援者養成研修に2名の職員が参加し資格を取得しました。感染症や食中毒予防の研修、虐待防止研修など、職員全員が1回以上研修に参加しました。	A	職員全員の研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。	意見無し	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	サービス提供時間以外の節電に職員全員が取り組みました。職員連携を取りやすくするために、リーダーが定期的に情報共有する形をとりました。	A	適切に行われている。	意見無し	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	区分の高い方を率先して受け入れる施設になるために、多機能型から生活介護サービス単体の施設に変更することについて市と協議を進めました。その準備として重度支援ができる体制づくりに取り組みました。	A	将来を見据えた体制作りに取り組み、創意・工夫のもと、サービスの質の向上を図っている。	意見無し	
< 課 題 >		重度支援対象者が10人以上いるにも関わらず、職員間の連携が取りづらく、支援体制が十分にできていない状況を変える必要があります。		施設長などの管理監督者が適切にマネジメントするなど、サービスの質の向上に努めること。	意見無し	
< 改善内容 >		多機能型を生活介護サービスのみに変更し、重度支援ができる体制をつくります。		施設の対象サービスの変更に伴い、利用者の意向に沿ったサービスが提供できる体制づくりを期待する。	意見無し	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	常に事業者ハンドブックで確認しながら事業実施を行っています。わからないことは県や市に確認し、都度書面に残すようにしています。個別支援計画については、施設長が確認し、手順にも抜けがないようにチェックしています。また、事業運営全般については、法人の内部監査で厳しくチェックしています。	A	適切に行われている。	意見無し	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	社協の個人情報保護規定に従って取扱いを適切に行っています。また、利用者に対しては契約時に個人情報使用同意書を取り、利用者に関わる書類は鍵付きロッカーで保管しています。	A	適切に行われている。	意見無し	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	事故の予防としてヒヤリハットの記録をつけ、ミーティング時などに周知しています。法人内で、ヒヤリハットや事故の報告を共有し、対策に向けて提案できる体制を作っています。	A	適切に行われている。	意見無し	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	年に2回、川西作業所と合同で消防総合訓練を実施しています。水害マニュアルも適宜見直し、天候によって利用者に注意喚起を行っています。防犯対策として警備会社直通ボタン、防犯カメラを設置しています。	A	適切に行われている。	意見無し	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	感染症のBCP(事業継続計画)の他、事故発生・緊急・災害・不審者対応マニュアル等を作成し、周知徹底をしています。また、適宜マニュアルを更新しています。	A	適切に行われている。	意見無し	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		該当なし		該当なし	該当なし	
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	基本利用者の希望を重視しています。	A	適切に行われている。	意見無し	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
< 課 題 >		災害時のBCPを完成させる必要があります。 実際マニュアル通りに動けないことがあります。		近年大規模な災害が全国的に多発していることから、早急にBCPを完成させたいと、マニュアルに沿った災害に備えた訓練などを徹底したうえで適切に実施する必要があります。	意見無し	
< 改善内容 >		令和5年度に法人と連動した災害時のBCPを完成させます。 各マニュアルの見直しをする際にシュミレーションを行うようにします。		災害が起きても対応できるようBCPの作成に努め、マニュアルの見直しや訓練に取り組むこと。	意見無し	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	就労継続支援B型を隣接する川西作業所と合併させ、多機能型を生活介護サービスのみに変更し、重度支援ができる体制づくりを提案しました。市と協議の結果令和5年10月に新体制に移行することになりました。		より重度の方への手厚い支援を行うための体制づくり、具体的な移行の期間を提案をいただいた。		意見無し	
・令和4年度に改善した内容	・感染対策をしながら、昨年度まで中止していた行事を徐々に再開していきました。 ・全廃の冷媒装置を使った空調を4台新しくしました。		感染症対策に取り組みながら、行事の再開や利用者の目線に沿った優先度が高い空調の修繕を行った。		意見無し	
・令和4年度に改善したことによる効果	・所外行事(万博公園)、部屋ごとの行事(カップヌードルミュージアム、池田呉服座、水月公園)を実施できたことで、楽しみが増え、利用者に活気が戻りました。 ・定期点検もしてもらえようになり、安心して利用者に快適な環境を提供できるようになりました。		各種行事の再開により、利用者にとって望ましいサービスの提供につながった。また、定期点検により利用者が安心して利用できる適切な環境を提供できた。		意見無し	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	・重度支援の強化に向けて、職員の資格取得や体制づくり、連携の強化など取り組む課題がたくさんあります。 ・外回りフェンスが老朽化のため倒壊の危険性があります。		サービスの安定的な提供に向け、職員への研修や体制作りを行う必要がある。また、安心して利用できる施設環境整備のため、計画的な改修を行うこと。		虐待への対応について、内外研修を受けてスキルアップすること。また、風通しのいい施設をめざすこと。	
・改善方法とその時期	・令和5年3月に利用者及び関係機関に新体制移行について周知を行いました。 4月からは個別に説明を行い、就労継続支援B型の利用者には意向確認のうえ9月までに数人ずつ移行を開始していく予定です。新体制移行会議を実施し、両作業所で連携して移行の準備を進めます。 ・令和5年度に外回りフェンスの危険個所の高い所のみ修繕予定です。		令和5年10月からの新体制移行に伴い、利用者への丁寧な説明とスムーズな事業実施を行うこと。また、計画的に修繕を実施すること。		意見無し	

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。